

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場会社名 横河電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6841 URL <http://www.yokogawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奈良 寿  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 中谷 博彦 (TEL) (0422)52-6845  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	90,271	1.5	6,570	37.5	6,760	20.5	2,100	△37.7
2019年3月期第1四半期	88,945	3.3	4,780	89.1	5,610	93.5	3,370	2.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △2,226百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 3,820百万円 (△36.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.87	-
2019年3月期第1四半期	12.61	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	465,698	289,316	60.8
2019年3月期	470,114	296,150	61.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 282,905百万円 2019年3月期 289,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	15.00	-	17.00	32.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	17.00	-	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,000	4.0	40,000	15.6	40,000	8.8	29,000	1.9	108.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

なお、当社の売上高及び営業利益は、日本の制御事業を中心に第2四半期及び第4四半期に集中する傾向があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	268,624,510株	2019年3月期	268,624,510株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,689,503株	2019年3月期	1,689,149株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	266,935,076株	2019年3月期1Q	267,226,924株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は2019年8月6日（火）に決算説明会を電話会議にて開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、同日速やかに当社ウェブサイトへ掲載予定です。

[添付資料]

添付資料の目次

	(ページ)
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結損益計算書関係) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
<参考資料>2020年3月期 第1四半期連結決算情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）において、当社グループは本年度が2年目となる中期経営計画“Transformation 2020”に基づき、「既存事業の変革」、「新事業とビジネスモデル変革への挑戦」、「グループ全体最適による生産性向上」の3つの変革に取り組みました。また、これらすべての変革の基盤として、デジタル技術を最大限に活用する「デジタルトランスフォーメーション」を価値創造の駆動力として「成長機会の創出」と「成長基盤の確立」に努めました。

当第1四半期の当社グループの業績は、主に制御事業が堅調に推移したことにより、前年同期比で増収、営業利益は増益となりました。売上高は、海外を中心に堅調に推移し、前年同期比13億円増加しました。営業利益は、増収に加え、粗利率の改善などにより、前年同期比で17億円増加しました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、お客様に対するソフトウェア\*対策及びサポートをこれまで以上に強化するため、ソフトウェア対策強化引当金繰入額として30億円の特別損失を計上したことなどにより前年同期比12億円減少しました。

## \*ソフトウェア

半導体部品が宇宙線中性子の影響でソフトウェアと称する一過性の異常を起こすことがあります。このソフトウェアは、記憶素子上のデータが反転を起こす現象です。ハードウェアの永久故障と異なり、データ反転のみのため、正しいデータに書き換えることで以降正常動作を回復します。

このソフトウェアは、使用している半導体部品の高集積化・微細化が進んだことに伴い、宇宙線中性子の影響を過度に受けることよってその発生頻度が高くなってきています。これは他業界でも喫緊の課題であり、弊社も解析及び研究に取り組んでいます。

業績の概況は以下のとおりです。

	2019年3月期 第1四半期連結累計期間	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	差異	増減率
売上高	889億45百万円	902億71百万円	13億25百万円	1.5%
営業利益	47億80百万円	65億70百万円	17億90百万円	37.5%
経常利益	56億10百万円	67億60百万円	11億49百万円	20.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	33億70百万円	21億0百万円	△12億70百万円	△37.7%
(参考)1米ドル平均レート	109.53円	109.67円	0.14円	-

セグメント別の概況は以下のとおりです。

## &lt;制御事業&gt;

	2019年3月期 第1四半期連結累計期間	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	差異	増減率
売上高	806億84百万円	829億3百万円	22億19百万円	2.8%
営業利益	51億27百万円	66億61百万円	15億33百万円	29.9%

制御事業の売上高は、主に海外を中心に底堅く推移した結果、前年同期比で22億円増加しました。また、営業利益は、増収に加え、粗利率改善により、前年同期比で15億円増加しました。

## &lt;計測事業&gt;

	2019年3月期 第1四半期連結累計期間	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	差異	増減率
売上高	48億45百万円	53億72百万円	5億27百万円	10.9%
営業利益	3億58百万円	81百万円	△2億76百万円	△77.2%

計測事業は、売上高は計測器事業を中心に堅調でしたが、ライフイノベーション事業の確立などに向けた先行投資の影響などにより、営業利益は前期比で2億円減少しました。

## &lt;航機その他事業&gt;

	2019年3月期 第1四半期連結累計期間	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	差異	増減率
売上高	34億16百万円	19億95百万円	△14億20百万円	△41.6%
営業利益	△7億 5百万円	△1億71百万円	5億33百万円	-

航機その他事業は、子会社の譲渡により売上高は減少しましたが、販管費の減少などにより、減収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、(会計方針の変更)に記載のIFRS第16号(リース)の適用により有形固定資産その他が増加した一方、受取手形及び売掛金が減少したため、前連結会計年度末に比べ44億円減少し4,656億円となりました。また、負債合計は、支払手形及び買掛金や賞与引当金などが減少した一方、同IFRS第16号(リース)の適用によりその他流動負債及びその他固定負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ24億円増加し1,763億円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末に比べ68億円減少し2,893億円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9%減少し、60.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想については、2019年5月8日に公表した通期連結業績予想を修正していません。業績見通しの前提となる為替レートは、1USD=110円を想定しています。

なお、現時点におけるセグメント別連結業績予想は、10ページをご参照願います。

## &lt;業績予想のご利用にあたっての注意事項&gt;

上記業績予想は、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたもので、実際の業績は予想と異なることがあり得ます。

業績の変動要因となり得る主なものは以下のとおりです。

- ・米ドル、ユーロ、アジア通貨、中東通貨を中心とした為替相場の変動
- ・原油価格の急激な変動
- ・主要市場における政治経済情勢の急変
- ・中東地域、東アジア等における地政学的なリスク
- ・貿易規制などのビジネス環境の変化
- ・市場における製品需給の急激な変動
- ・日本の株式相場の変動
- ・自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・M&A、製品開発等における他社との提携関係
- ・地震、洪水、津波などの自然災害の発生

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	86,515	83,165
受取手形及び売掛金	171,084	162,691
商品及び製品	13,092	14,201
仕掛品	9,126	10,400
原材料及び貯蔵品	14,622	15,293
その他	16,250	15,124
貸倒引当金	△4,130	△3,941
流動資産合計	306,560	296,936
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物 (純額)	45,721	45,091
その他	29,420	36,117
有形固定資産合計	75,141	81,208
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	15,798	15,198
のれん	6,608	6,099
その他	11,650	10,913
無形固定資産合計	34,057	32,211
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	42,550	43,199
その他	13,820	14,105
貸倒引当金	△2,016	△1,962
投資その他の資産合計	54,354	55,341
固定資産合計	163,553	168,762
資産合計	470,114	465,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,130	22,220
電子記録債務	9,966	10,980
短期借入金	13,832	13,654
未払金	13,530	17,590
未払法人税等	4,332	3,738
前受金	36,891	36,613
賞与引当金	15,538	7,411
工事損失引当金	7,806	7,161
ソフトウェア対策強化引当金	-	471
その他	20,639	22,465
流動負債合計	147,669	142,308
固定負債		
長期借入金	18,670	18,672
退職給付に係る負債	4,050	3,995
ソフトウェア対策強化引当金	-	2,578
その他	3,572	8,827
固定負債合計	26,293	34,073
負債合計	173,963	176,382
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	43,401	43,401
資本剰余金	54,602	54,602
利益剰余金	193,468	191,031
自己株式	△1,397	△1,398
株主資本合計	290,074	287,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,431	8,688
繰延ヘッジ損益	20	4
為替換算調整勘定	△8,314	△12,121
退職給付に係る調整累計額	△1,351	△1,302
その他の包括利益累計額合計	△214	△4,730
非支配株主持分	6,290	6,410
純資産合計	296,150	289,316
負債純資産合計	470,114	465,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	88,945	90,271
売上原価	50,535	49,748
売上総利益	38,410	40,522
販売費及び一般管理費	33,630	33,951
営業利益	4,780	6,570
営業外収益		
受取利息	131	145
受取配当金	295	333
持分法による投資利益	184	454
為替差益	95	-
その他	385	250
営業外収益合計	1,093	1,183
営業外費用		
支払利息	58	125
為替差損	-	513
その他	204	355
営業外費用合計	262	994
経常利益	5,610	6,760
特別利益		
固定資産売却益	1	80
投資有価証券売却益	428	13
事業譲渡益	-	※1 823
特別利益合計	430	918
特別損失		
固定資産売却損	1	8
固定資産除却損	30	97
ソフトウェア対策強化引当金繰入額	-	※2 3,049
特別損失合計	31	3,155
税金等調整前四半期純利益	6,009	4,523
法人税、住民税及び事業税	2,436	2,122
法人税等調整額	△210	△73
法人税等合計	2,225	2,048
四半期純利益	3,783	2,474
非支配株主に帰属する四半期純利益	413	374
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,370	2,100

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	3,783	2,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△260	△745
繰延ヘッジ損益	105	△15
為替換算調整勘定	262	△3,888
退職給付に係る調整額	△64	49
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△101
その他の包括利益合計	36	△4,701
四半期包括利益	3,820	△2,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,445	△2,415
非支配株主に係る四半期包括利益	374	188

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 事業譲渡益

樹脂型渦流量計事業の譲渡に係るものです。

※2. ソフトエラー対策強化引当金繰入額

お客様に対するソフトエラー対策及びサポート強化に伴い、今後発生が見込まれる費用を計上したものです。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しています。本会計基準の適用により、借手のリース取引については、原則、使用権資産及びリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しています。

これにより、当四半期連結会計年度末における有形固定資産その他が7,450百万円、その他流動負債が2,022百万円、その他固定負債が5,414百万円増加しています。なお、四半期連結損益計算書に与える影響額は軽微です。

本会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、本会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

		前第1四半期 連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同期比
制御	外部顧客への売上高	80,684	82,903	2,219
	営業利益	5,127	6,661	1,533
計測	外部顧客への売上高	4,845	5,372	527
	営業利益	358	81	△276
航機その他	外部顧客への売上高	3,416	1,995	△1,420
	営業利益	△705	△171	533
四半期連結 損益計算書 計上額	外部顧客への売上高	88,945	90,271	1,325
	営業利益	4,780	6,570	1,790

(参考) 地域ごとの売上高

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		対前期比
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
日本	25,768	29.0	25,010	27.7	△758
海外	63,177	71.0	65,260	72.3	2,083
東南アジア・極東	16,510	18.6	15,994	17.7	△516
中国	11,317	12.7	9,645	10.7	△1,672
インド	2,131	2.4	3,414	3.8	1,283
欧州全域	7,501	8.4	7,878	8.7	376
ロシア	4,845	5.4	4,784	5.3	△61
北米	7,702	8.7	8,030	8.9	327
中東・アフリカ	11,527	13.0	13,280	14.7	1,752
中南米	1,640	1.8	2,232	2.5	592
連結	88,945	100.0	90,271	100.0	1,325

<参考資料>

2019年8月6日  
横河電機株式会社

2020年3月期 第1四半期連結決算情報

(単位：百万円)

	2018/6		2019/6		前年同期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	88,945	—	90,271	—	1,325	—
営業利益	4,780	5.4%	6,570	7.3%	1,790	1.9%
経常利益	5,610	6.3%	6,760	7.5%	1,149	1.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,370	3.8%	2,100	2.3%	△1,270	△1.5%
総資産	443,393		465,698		22,305	
純資産	278,262		289,316		11,053	
自己資本当期純利益率	1.2%		0.7%		△0.5%	
1株当たり四半期純利益	12.61円		7.87円		△4.74円	
設備投資	2,167		2,363		196	
減価償却費	4,273		4,603		329	
研究開発費	6,247		6,210		△37	
期中平均為替レート (米ドル)	109.53円		109.67円		0.14円	

受注高

(単位：百万円)

	2018/6	2019/6	2020/3 予想
制御事業	91,185	95,728	400,000
計測事業	5,785	6,495	24,000
航機その他事業	5,064	1,970	6,000
合計	102,034	104,193	430,000

売上高

(単位：百万円)

	2018/6	2019/6	2020/3 予想
制御事業	80,684	82,903	387,000
計測事業	4,845	5,372	24,000
航機その他事業	3,416	1,995	9,000
合計	88,945	90,271	420,000

営業利益

(単位：百万円)

	2018/6	2019/6	2020/3 予想
制御事業	5,127	6,661	39,000
計測事業	358	81	1,500
航機その他事業	△705	△171	△500
合計	4,780	6,570	40,000